

令和7年度青森県原子力防災訓練

11月13日、青森県・東通村・関係周辺市町村の共催により、東北電力㈱東通原子力発電所1号機を対象として、原子力防災体制の確立、防災関係機関の緊急時対応能力向上を目的とし、原子力防災訓練を実施し、42機関、約790名にご参加いただき、様々な訓練を実施しました（主な訓練項目は囲みのとおり）。

このうち住民防護措置訓練では、白糠・老部・小田野沢・上田屋・下田屋・石蔵平・一里小屋・大利・早掛平地区から40名の住民の皆さんにご参加いただき、各地区の一

主な訓練項目

- ・住民防護措置訓練（陸路・海路避難）
- ・安定ヨウ素剤緊急配布訓練
- ・避難行動要支援者搬送訓練
- ・情報伝達訓練
- ・映像伝達訓練
- ・避難所開設・運営訓練

時集合場所から車両による陸路避難または船舶による海路避難を実施しました。

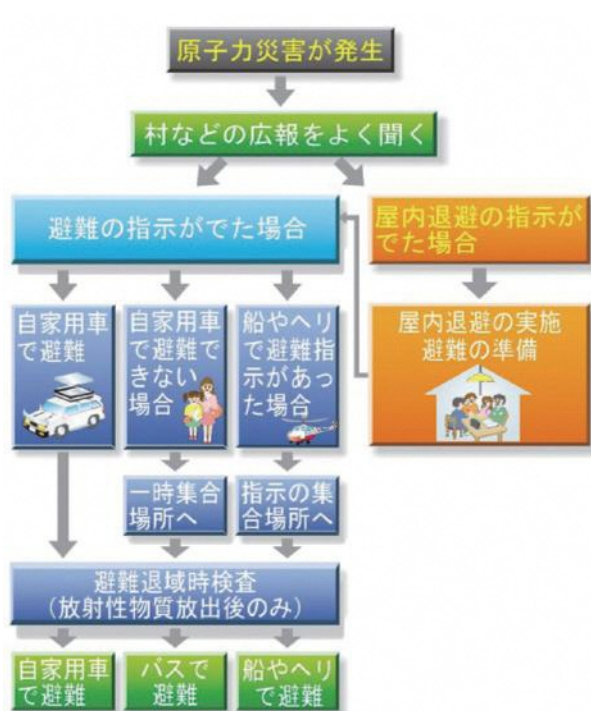
また、東通村体育館を会場とした避難所開設・運営訓練では、防災士から避難所の運営や防災グッズの説明を受けながら、段ボールベッドの組立や簡易トイレを体験したり、原子力防災に関するクイズを行い、災害時の対応について理解を深めていただきました。

村は、原子力防災対策に万全を期するため、関係機関と連携し、今後も定期的に訓練を実施していきます。ご協力ありがとうございました。

なお、原子力防災対策や避難計画などについては、配布済みの「原子力防災ガイドブック」や原子力ホームページをご参照ください。
（原子力ホームページ <https://www.atom-higashidoori.jp/>）



原子力災害時の行動手順



【注意】
複合災害時は、自然災害からの身の安全の確保を優先してください。

各訓練の様子



バスによる陸路避難訓練



船舶による海路避難訓練



安定ヨウ素剤緊急配布訓練
（バス配布）



避難行動要支援者搬送訓練



避難所開設・運営訓練



訓練を観閲する知事と村長